

平成 30 年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

教科教育専攻 社会科教育専修

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配布するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題 次の2つの資料を読んで、以下の各問に答えなさい。

〔資料1 「部活の体罰なくせるか―『観守り』役で主体性育てる」(畑喜美夫・広島県立安芸南高校教諭)、一部改変〕

非公開

非公開

(『朝日新聞』2016年11月23日付朝刊、西日本本社版13面「オピニオン」欄)

[資料2 内田 良「「教育病」としての暴力」、『現代思想』2015年4月、抜粋し一部改変]

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

- 問1. 資料1の著者が実践する部活動指導の特徴について要約しなさい。(400字程度)
- 問2. 資料2の著者が指摘する体罰の発生する構造について、下線を付した2つのキーワード(①「教育病」、②「学校化」)を用いて説明しなさい。(600字程度)
- 問3. 体罰をなくすために、あなたはどのような方策が必要と考えるか。資料2で示された体罰の発生する構造と、資料1で示された部活動指導を比較した上で、あなたの意見を述べなさい。(800字程度)

平成 30 年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

教育学部学校教育教員養成課程

教科教育専攻社会科教育専修

出題の意図

この小論文は、琉球大学のアドミッション・ポリシーに基づき、教育学部・学校教育教員養成課程が求める、将来教師として教育に従事するために必要な教育の理念と実践を広く深く学ぶ意義と資質について評価するものである。すなわち、資料（社会科学的な内容）に対して、その内容を正確に読解し、そこから得られた認識を基に設問の要旨も踏まえて合理的に考察し、それを的確に論述する構想力と表現力について、問うものである。